

考査項目別運用表(完成・指定部分完成)/土木監督用(土木電気設備工事)

考査項目	細別	対象 該当	a 適切である	b 〔ほ〕適切である	c 他の評価に該当しない	d やや不適切である	e 不適切である	
●評価対象項目								
1.施工体制	I 施工体制 一般		<input type="checkbox"/> 「施工プロセス」のチェックリストのうち、施工体制一般について指示事項が無い。 <input type="checkbox"/> 施工計画書を、工事着手前に提出している。 <input type="checkbox"/> 品質証明員が関係書類、出来形、品質等の確認を工事全般にわたって実施して、品質證明に係る体制が有効に機能している。	<input type="checkbox"/> 施工体制一般に関する改善指示職員が文書による改善指示を行った。	<input type="checkbox"/> 施工体制一般に関する改善指示職員が文書による改善指示を行った。	<input type="checkbox"/> 施工体制一般に関する改善指示職員が文書による改善指示を行った。	<input type="checkbox"/> 施工体制一般に関する改善指示職員が文書による改善指示を行った。	
●評価対象項目								
	評価		<input type="checkbox"/> 品質證明員が分担の範囲を、施工体制台帳及び施工体系図に明確に記載している。 <input type="checkbox"/> 元請が下請の作業成績と現場施工方法が一致している。 <input type="checkbox"/> 緊急指示、災害、事故等が発生した場合の対応が速やかである。 <input type="checkbox"/> 現場に対する本店や支店による支援体制を整えている。 <input type="checkbox"/> 工場製作期間における技術者を適切に配置している。 <input type="checkbox"/> 機械設備、電気設備等について、製作工場における社内検査体制(規格値の設定や確認方法等)を整えている。	<input type="checkbox"/> 元請が下請の内容と現場施工方法が一致している。 <input type="checkbox"/> 緊急指示、災害、事故等が発生した場合の対応が速やかである。 <input type="checkbox"/> 現場に対する本店や支店による支援体制を整えている。 <input type="checkbox"/> 工場製作期間における技術者を適切に配置している。 <input type="checkbox"/> 機械設備、電気設備等について、製作工場における社内検査体制(規格値の設定や確認方法等)を整えている。 <input type="checkbox"/> その他(理由:)	<input type="checkbox"/> 評価値が90%以上………a 評価値が80%以上90%未満………b 評価値が80%未満………c	<input type="checkbox"/> ①「対象」欄にチェックボックスがある項目は、評価すべき項目の場合にチェックし、評価すべき場合は空白のままする。 ②評価値(%) = 評価項目数 / 対象評価項目数 × 100 ③対象評価項目数が2項目以下の場合はC評価とする。	<input type="checkbox"/> d. やや不適切である <input type="checkbox"/> e. 不適切である	
●評価対象項目								
	II 配置技術者 (現場代理人等)		<input type="checkbox"/> 「施工プロセス」のチェックリストのうち、配置技術者及び専門技術者を選任及び配置している。 <input type="checkbox"/> 作業に必要な作業主任者及び専門技術者を選任及び配置している。 <input type="checkbox"/> 現場代理人を評価する項目】	<input type="checkbox"/> 配置技術者に関する改善指示職員が文書による改善指示を行った。	<input type="checkbox"/> 配置技術者に関する改善指示職員が文書による改善指示を行った。	<input type="checkbox"/> 配置技術者に関する改善指示職員が文書による改善指示を行った。	<input type="checkbox"/> 配置技術者に関する改善指示職員が文書による改善指示を行った。	
	評価		<input type="checkbox"/> 現場代理人が、工事全體を把握している。 <input type="checkbox"/> 設計図書と現場との相違があつた場合は、監督職員と協議するなどの必要な対応を行っている。 <input type="checkbox"/> 監督職員への報告を適時及び的確に行つていい。 <input type="checkbox"/> 監理(主任)技術者を評価する項目】	<input type="checkbox"/> 評価値が90%以上………a 評価値が80%以上90%未満………b 評価値が80%未満………c	<input type="checkbox"/> 書類を共通仕様書及び諸基準に基づき適切に作成し、整理している。 <input type="checkbox"/> 契約書、設計図書、適用すべき諸基準等を理解し、施工に反映している。 <input type="checkbox"/> 施工上の課題となる条件(作業環境、気象、地質等)への対応を図っている。 <input type="checkbox"/> 下請の施工体制及び施工状況を把握し、技術的な指導を行っている。 <input type="checkbox"/> 監理(主任)技術者が、明確な根拠に基づいて技術的な判断を行っている。 <input type="checkbox"/> その他(理由:)	<input type="checkbox"/> ①「対象」欄にチェックボックスがある項目は、評価すべき項目の場合にチェックし、評価すべき場合は空白のままする。 ②評価値(%) = 対象評価項目数 / 対象評価項目数 × 100 ③対象評価項目数が2項目以下の場合はC評価とする。		

考査項目別運用表（完成・指定部分完成）/土木監督用(土木電気設備工事)

考査項目	細別	対該 象当	a 適切である	b ほぼ適切である	c 他の評価に該当しない	d やや不適切である	e 不適切である
2.施工状況							
I 施工管理	●評価対象項目		「施工プロセス」のチェックリストのうち、施工管理について指示事項が無い。				
評価	施工計画書が、設計図書及び現場条件を反映したものとなっている。						
	現場条件の変化に対して、適切に対応している。						
	工事材料の品質に影響が無いよう保管している。						
	日常の出来形管理を、設計図書及び施工計画書に基づき適時及び的確に行っている。						
	日常の品質管理を、設計図書に基づき適時及び的確に行っている。						
	現場内の整理整頓を日常的に行っている。						
	指定材料の品質証明書及び写真等を整理している。						
	工事打合せ簿を、不備無く整理している。						
	工事打合せ簿を、不備無く整理している。						
	建設副産物の再利用等への取り組みを適切に行っている。						
	建設機械及び車両を使用している。						
	その他（理由：）						
II 工程管理							
評価	●評価対象項目		「施工プロセス」のチェックリストのうち、工程管理について指示事項が無い。				
	工程に与える要因を的確に把握し、それらを反映した工程表を作成している。						
	施工工程表の作成及びフォローアップを行っており、適切に工程を管理している。						
	現場条件の変化への対応が迅速であり、施工の停滞が見られない。						
	時間制限や片側交互通行等の各種制約への対応が適切であり、大きな工程の遅れが無い。						
	工事の進捗を早めるための取り組みを行っている。						
	適切な工程管理を行い、工程の遅れが無い。						
	休日の確保を行っている。						
	計画工程以外の時間外作業がほとんど無い。						
	その他（理由：）						
	①「対象」欄にチェックボックスがある項目は、評価すべき項目の場合にチェックし、評価すべきでない場合は空白のままでする。 ②評価値（ %）=該当評価項目数 / 対象評価項目数 × 100 ③対象評価項目数が2項目以下の場合はC評価とする。						
	評価対象項目						
	施工計画書が90%以上………a 評価値が80%以上90%未満………b 評価値が80%未満………c		a、適切である	b、(ほぼ)適切である	c、他の評価に該当しない	d、やや不適切である	e、不適切である

2/6

考査項目別運用表(完成・指定部分完成)/土木監督用(土木電気設備工事)

考査項目	細別	対象	該当	a 適切である	b ほぼ適切である	c 他の評価に該当しない	d やや不適切である	e 不適切である
2.施工状況	I 安全対策 評価	●評価対象項目 「施工プロセス」のチェックリストのうち、安全対策について指示事項が無い。 災害防止協議会等を1回／月以上行っている。 安全教育及び安全訓練等を半日／月以上実施している。 新規入場者教育の内容に、当該工事の現場特性を反映している。 工事期間を通り、労働災害及び公衆災害が発生しなかった。 過積載防止に取り組んでいる。 仮設工の点検及び管理を、チエックリスト等を用いて実施している。 保安施設の設置及び管理を、各種基準及び管理を、各種基準及び管理を、各関係者間の協議に基づき実施している。 地下埋設物及び架空線等に関する事故防止対策に取り組んでいる。 その他(理由:))		<input type="checkbox"/> 安全対策に関する改善指示を行った。	<input type="checkbox"/> 安全対策に関する改善指示を行った。		<input type="checkbox"/> 安全対策に関する改善指示を行った。	
		評価値 評価値が90%以上………a 評価値が80%以上90%未満………b 評価値が80%未満………c 評価値(%) = 評価項目数 / 対象評価項目数 × 100 ③対象評価項目数が2項目以下の場合はC評価とする。		①「対象」欄にチェックボックスがある項目は、評価すべき項目の場合にチェックし。 評価すべき場合は空白のままとす。a 評価すべきではない場合は空白のままとす。b 評価すべきではない場合は空白のままとす。c ②評価値(%) = 評価項目数 / 対象評価項目数 × 100 ③対象評価項目数が2項目以下の場合はC評価とする。				
	II 対外関係 評価	●評価対象項目 「施工プロセス」のチェックリストのうち、対外関係について指示事項が無い。 関係官公庁などと調整を行い、トラブルの発生が無い。 地元との調整を行い、トラブルの発生が無い。 第三者からの苦情が無い。もしくは、苦情に対して適切な対応を行っている。 関連工事との調整を行い、円滑な進捗を取り組んでいる。 工事の目的及び内容を、工事看板などにより地域住民や通行者等に分かりやすく周知している。 その他(理由:))		<input type="checkbox"/> 対外関係に関する改善指示を行った。	<input type="checkbox"/> 対外関係に関する改善指示を行った。		<input type="checkbox"/> 対外関係に関する改善指示を行った。	
		評価値 評価値が90%以上………a 評価値が80%以上90%未満………b 評価値が80%未満………c 評価値(%) = 評価項目数 / 対象評価項目数 × 100 ③対象評価項目数が2項目以下の場合はC評価とする。		①「対象」欄にチェックボックスがある項目は、評価すべき項目の場合にチェックし。 評価すべき場合は空白のままとす。a 評価すべきではない場合は空白のままとす。b 評価すべきではない場合は空白のままとす。c ②評価値(%) = 評価項目数 / 対象評価項目数 × 100 ③対象評価項目数が2項目以下の場合はC評価とする。				

考査項目別運用表(完成・指定部分完成)/土木監督用(土木電気設備工事)

4/6

	細別	対象	該当	a 適切である	b ほぼ適切である	c 他の項目に該当しない	d 出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で改善指示を行った。	e 契約書第17条に基づき、監督職員が改造請求を行った。
3.出来形及び出来栄え		●評価対象項目		<p>出来形に関する出来形管理が容易に把握できるよう、出来形管理図及び出来形管理表を工夫している。</p> <p>機器等の測定(試験)結果が、その都度管理図表などに記録され、適切に管理している。</p> <p>不可視部分の出来形を写真撮影している。</p> <p>出来形(電気設備工事、通信設備工事、受変電設備工事)</p> <p>機器全般にわたり、形状及び寸法の実測値が許容範囲内である。</p> <p>設備の据付及び固定方法が設計図書又は承諾図書とおり施工している。</p> <p>設計図書又は承諾図書とおりに敷設している。</p> <p>配管及び配線が、設計図書とおりに敷設している。</p> <p>測定機器のキャリブレーションを、定期的に実施している。</p> <p>行先などを表示した名札がケーブルなどに分りやすく堅固に取り付けている。</p> <p>配管及び配線の支持間隔や絶縁抵抗等について、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p>社内の管理制度に基づき管理している。</p> <p>その他(理由):</p> <p>)</p>		<p>評価値が90%以上……………^a 評価値が80%未満……………^b 評価値が80%未満……………^c</p> <p>①「対象」欄にチェックボックスがある項目は、評価すべき項目の場合にチェックし、評価すべきでない場合は空白のままとする。 ②評価値(%) = 評価項目数 / 対象評価項目数 × 100 ③対象評価項目数が2項目以下の場合はC評価とする。</p>		

考査項目別運用表(完成・指定部分完成)/土木監督用(土木電気設備工事)

3.出来形及び出来栄え	細別	評価	該当	a 適切である	b ほぼ適切である	c 他の項目に該当しない	d 品質関係の測定方法又は測定値	e 契約書第17条に基づき、監督職員が改造請求を行った。			
●評価対象項目											
製作着手前に、品質や性能の確保に係る技術検討を実施している。											
	II 品質 (電気設備工事、通信設備工事、受変電設備工事)			<input type="checkbox"/> 材料、部品の品質照合の結果が、品質保証書等(現物照会を含む)で確認でき、設計図書を満足している。	<input type="checkbox"/> 機器の品質、機能及び性能が、設計図書を満足し、成績表にまとめている。	<input type="checkbox"/> 操作スイッチや表示灯が承諾図書のとおり配置され、操作性に優れている。	<input type="checkbox"/> ケーブル及び配管の接続などの作業が施工計画書に記載された手順に沿って行われ、不具合がない。	<input type="checkbox"/> 設備の機能及び性能が設計図書の仕様を満足している。			
				<input type="checkbox"/> 操作制御関係の機能及び性能が、仕様を満足しているとともに、必要な安全装置及び保護装置の作動が確認できる。	<input type="checkbox"/> 設備の総合性能が、設計図書の仕様を満足している。	<input type="checkbox"/> 現場条件によって機器(製品)の機能及び性能が確認できない場合において、工場試験などで確認している。	<input type="checkbox"/> 設備全体についての取扱説明書を工夫し作成(修繕・改修・更新含む)の場合は、修正又は更新している。	<input type="checkbox"/> 完成図書で定期的な点検や交換をする部品及び箇所を明示している。			
				<input type="checkbox"/> 設備の構造において、点検や消耗品の取替え作業が容易にできるよう工夫している。	<input type="checkbox"/> その他 (理由:)						
		評価									
				<input type="checkbox"/> 評価値が90%以上a <input type="checkbox"/> 評価値が80%未満b <input type="checkbox"/> 評価値が80%未満c		①「対象」欄にチェックボックスがある項目は、評価すべき項目の場合にチェックし、評価すべきでない場合は空白のままである。 ②評価値(%) = 評価項目数/対象評価項目数 × 100 ③対象評価項目数が2項目以下の場合はC評価とする。					

考査項目別運用表(完成・指定部分完成)/土木監督用(土木電気設備工事)

6/6

工事項目		
考査項目	細別	【施工】
5. 創意工夫	創意工夫	<p>□ 施工に伴う器具、工具、装置等に関する工夫又は設備配置後の試運転調整に関する工夫。</p> <p>□ コンクリート二層製品などの代替材の利用に関する工夫。</p> <p>□ 土工、地盤改良、橋脚架設、舗装、コンクリート打設等の施工に関する工夫。</p> <p>□ 部材並びに機材等の運搬及び設置方法などの施工に関する工夫。</p> <p>□ 設備工事における加圧や耐立等又は電気工事等における配線や配管等に関する工夫。</p> <p>□ 給排水工事や衛生設備工事等における配管又はポンプ類の連結防止、配管のつなぎ等に関する工夫。</p> <p>□ 照明などの視界の確保に関する工夫。</p> <p>□ 仮排水、仮道路、巡回路等の計画的な施工に関する工夫。</p> <p>□ 運搬車両、施工機械等に関する工夫。</p> <p>□ 支保工、塑枠工、足場工、仮接続、覆工板、川留め等の仮設工に関する工夫。</p> <p>□ 盛土の締固度、杭の施工高さ等の管理に関する工夫。</p> <p>□ 施工計画書の作成、写真の管理等に関する工夫。</p> <p>□ 出来形又は品質の品質測定、集計、管理図等に関する工夫。</p> <p>□ 施工管理ソフト、土量管理システム等の活用に関する工夫。</p> <p>□ I C T (情報通信技術) を活用した情報化施工を取り入れた工事。(※本項目は2点の加点とする)</p> <p>□ 特殊な工法や材料を用いた工事。</p> <p>□ 優れた技術力又は能力として評価する技術を用いた工事。</p>
	【品質】	<p>□ 土工、設備、電気の品質向上に関する工夫。</p> <p>□ コンクリートの材料、打設、養生に関する工夫。</p> <p>□ 鉄筋、P C ケーブル、コンクリート二次製品等の使用材料に関する工夫。</p> <p>□ 配筋、溶接作業等に関する工夫。</p> <p>□ 供用中の道路等の事故防止及び一般交通事故確保等のための工夫。</p>
	【安全管理】	<p>□ 建設業労働災害防止協会が定める指針に基づく安全衛生教育を実施している。(※本項目は2点の加点とする)</p> <p>□ 安全確保するための仮設構造に関する工夫。(以下物、警戒・転落、陥没、看板、立入禁止牌、千摺り、足場等)</p> <p>□ 安全教育、技術向上講習会、安全管理会議等に関する工夫。</p> <p>□ 現場事務所、労務者宿舎等の空間及び設備等に関する工夫。</p> <p>□ 有毒ガス並びに可燃ガスの処理及び粉塵防止並びに作業中の換気等に関する工夫。</p> <p>□ 一般車両突入時の被害軽減方策又は一般交通の安全確保に関する工夫。</p> <p>□ 環境保全に関する工夫。</p>
	記述評価 【レマーク を付した評 価内容を詳 細記述】	<p>評点 : 点</p> <p>【創意工夫の詳細評価】工夫の内容及び具体的な内容を記載</p> <p>.....</p>

- 特に評価すべき創意工夫事例を加点評価する。
- 評価は各項目において1つしか評価されれば1, 2, 4点で評価し、最大7点の単点評価とする。
 - 該当する数と重みを勘案して評価する。1項目1点を目安とするが、内容によってはそれ以上の点数を与えてよい。
 - 上記の考査項目の他に評価に値する企業の工夫があれば、その他に具体的な内容を記載して加点する。